

7月28日

テーマ：羊飼への知らせ

聖書箇所：ルカの福音書2章8～20節

◆今日のみことば

きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」

ルカの福音書2章11、12節

◆メッセージ

イエスさまがお生まれになったという喜びは、天使によって、誰よりも先に羊飼いたちに知らされました。けれども、羊飼いたちは喜べませんでした。ユダヤの社会では、安息日を守らない羊飼いは罪人とさげすまれていたからです。自分のことをみじめだと思い、人からのけ者にされているから、神さまから優しくされるわけがないと考えて、天使の知らせをとて怖がりました。ついに神さまがお怒りになって、刑罰を与えるために天使がやって来たと思



ったのです。ところが、天使は「あなたがたのために救い主がお生まれになったのです。救い主は飼葉おけに寝ておられます。それが、あなたがたのためのしるしです。」と教えてくれました。家畜小屋なら、羊飼いたちもとがめられずに行くことができます。

人から認められなかったり、のけ者にされていると思うことがありますか。

神さまからも見捨てられて、忘れ去られているのだと考えてしまうことはありませんか。ところが、神さまは私たちが考えたり、感じていることとは全く違うことを考えておられるお方です。羊飼いが恐怖だと思ったことを、喜びだと教えてくださったように。自分は神さまから見れば正しい者ではない、自分勝手なことをしてしまうと気がついて、心から悲しんでいる人を、神さまは慈しみ、助けようと手をさしのべてくださいます。自分は正しくならなければいけない、何でも出来なければいけないと無理をして頑張る必要はないよ、と優しく語ってくださいます。神さまは、ひとり子のイエスさまを、罪人である私たちの救い主として生まれさせてくださったのです。悲しみの人が喜びの人に生まれ変わるために。

羊飼いたちは、天使の知らせの通りにベツレヘムに行きました。とにかく、そのまま。そして、イエスさまにお会いして喜びに満たされました。その喜びを人々にも知らせました。だって、天使の知らせは、この民全体のための知らせ、でしたから。それは私だけでなく、みんなのための知らせでもあるのです。イエスさまは、私たちに救いの喜びをあふれさせてくださいます。



◆お祈り

「悲しみ苦しんでいる人を愛して助けてくださるイエスさまを感謝します。イエスさまといっしょに喜びをもって歩めますように。」 (恋が窪キリスト教会牧師 柿島文人)